

保健学研究科における教育の概要

① 保健学研究科について

保健学研究科は、平成20年4月に、前身の医学系研究科から保健学専攻を独立させ、心身の健康や疾病・障害に関する教育と研究を通して、人類の幸福と社会福祉の向上に寄与する実践的学問である「保健学」の更なる深化を目指して発足した組織です。この改組により、従来の「看護学」、「病態解析学」、「リハビリテーション科学」の基幹3領域に、新たに「国際保健学」、「地域保健学」の融合2領域を設け、本研究科の基本理念である「総合保健医療 (total health care)」、すなわち「心身の健康や疾病・障害は個人及び集団を対象として、身体的・精神的・社会的・倫理的側面から総合的に把握する必要がある」という基本的な考え方に沿った教育・研究を行っています。

[保健学研究科の理念、教育目的、到達目標はこちらから見るすることができます](#)

② 教員について

《教員の配置状況(平成22年5月1日現在)》

	収容 定員	専任教員数(現員)					助手	非常勤等
		教授	准教授	講師	助教	計		
保健学 博士課程	187	25	13	7	24	69	0	38

《研究指導教員数及び研究指導補助教員数(平成22年5月1日現在)》

	収容 定員	研究指導 教員	研究指導補 助教員	計	設置基準に必要な教員数		
					研究指導 教員	研究指導 補助教員	計
保健学 博士課程	187	43	29	72	6	6	12

[各研究領域の教員一覧はこちらから見るすることができます。](#)

平成20年度からは「主・副指導教員体制」と「中間発表会制度」を設け、学生の研究進捗状況を学生・教員間で共有し学生の研究進捗の推進を図るための教育支援体制を構築しています。これまで実施していた博士前期課程終了時発表会に加えて、平成21年度からは博士後期課程終了時発表会も実施しています。このことにより、教育成果を明らかにすると同時に、修了者の発表内容が在学生の研究遂行上の指標となるようにしています。さらに、平成21年度からは、「大学院オリエンテーション」を開

催し、学習と研究を進める上で学生が直面している課題を学生・教員間で検討し、課題解決を図るための教育支援体制を構築しています。

③ 教育課程

保健学専攻博士課程（前期及び後期課程）の授業科目は、共通科目及び専門科目（必修科目並びに選択科目）からなります。共通科目は保健医療に関する倫理・教育・管理・疫学等の知識を修得させることを目的としており、専門科目は専門分野の知識と技術を修得し、高度専門性と研究能力を向上させることを目的としています。また、他領域を始めとして、取得単位の制限はあるものの他研究科の科目も受講可能としています。

④ 卒業要件等

保健学専攻博士課程（前期課程）の共通科目は「保健倫理学特講I」、「臨床心理学特講I」など12科目が開講されています。また専門科目は各領域5～27科目、特別研究1～5科目で構成されています。博士前期課程特別研究は研究方法・研究技法・研究者倫理・キャリア開発などのスキル、論文の執筆活動による論理的思考を獲得し、分析能力・問題解決能力・倫理観に富むリサーチマインドを育成することを目的としています。修了要件は30単位以上です。

保健学専攻博士課程（後期課程）の授業科目は共通科目として「医療保健統計・疫学特講II」、「社会・保健行動科学研究法特講II」など10科目、専門科目として各分野4～27科目、特別研究7科目で構成されています。博士後期課程特別研究は主体的な研究を行う上で必要なアイデアや独創性、研究論文としてまとめる能力を養うことに重点を置き、学生の発想・論理・思考・研究分析等の能力を高め、専門分野の実践の場において優れた指導力が発揮できる高度専門職指導者や研究・教育者の養成に重点を置いています。指導教員の担当する専門科目8単位以上を履修させ、共通科目2単位を含め12単位以上が修了要件です。

⑤ 学生定員と現状

《学生定員と現員の状況(平成22年5月1日現在)》

	定員(名)	現員数(名)					定員充足率 (%)
		1年次	2年次	3年次	4年次	計	
保健学 博士課程(前期)	112	57	64	—	—	121	108.0
保健学 博士課程(後期)	75	21	20	26	—	67	89.3

⑥ 学生納付金： 授業料 535,800円 入学料 282,000円 検定料 30,000円

⑦ 学習環境： 大学院生の居室(自習室)を設け、24時間使用可能としています。神戸大学附属図書館保健科学図書室は平日夜間と土曜日も開館し学生への便宜を図っています。